



平成 25 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 太陽毛絲紡績株式会社
グリーンシート銘柄 オーディナリー
コード番号 3211
本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長
山中 庸
TEL (048)265-2414

平成 25 年 9 月期中間決算における特別損失の計上、および中間(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 9 月期(平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)中間決算において、特別損失を計上いたしましたことをお知らせいたします。また、平成 24 年 11 月 16 日付当社「平成 24 年 9 月期決算短信」および平成 25 年 1 月 31 日付当社「平成 25 年 9 月期第 1 四半期決算短信(連結)」にて発表いたしました平成 25 年 9 月期中間(連結・個別)・通期(連結・個別)業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 9 月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	370	△13	△14	△3円92銭
今回修正 (B)	398	△3	△8	△2円47銭
増減額 (B-A)	28	10	6	—
増減率	7.6%	—%	—%	—
(ご参考)前中間期実績(平成 24 年 9 月期)	405	△9	△17	△4円80銭

2. 平成 25 年 9 月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	330	△7	△8	△2円24銭
今回修正 (B)	360	△3	△9	△2円56銭
増減額 (B-A)	30	4	△1	—
増減率	9.0%	—%	—%	—
(ご参考)前中間期実績(平成 23 年 9 月期)	364	△12	△19	△5円35銭

3. 修正理由

<連結>

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、震災後の復興を背景とした公共投資の増加などによる持ち直しに加えて、昨年12月以降は、円高修正が進み輸出企業の業績改善がけん引する形で株価が上昇基調となり、先行きへの期待を先取りした明るい兆しが見えつつあります。一方で、わが国経済を取巻く経営環境は、海外においては米国の財政、欧州の債務危機問題などの不安定要素に加えて、新興国経済成長の鈍化などにより景気の不透明感が払拭できない状態が続いております。国内においては需給ギャップや長期間のデフレ、円高是正の影響による原材料・食品等輸入品の価格上昇、電気を中心としたエネルギーの価格上昇と供給不安などから、企業の設備投資や雇用・所得環境への波及効果はまだ弱く、先行きは予断を許さない状況で推移いたしました。繊維業界におきましては、政権交代による期待感から国内景気は改善の方向に進んではいるものの、衣料品販売における影響は限定的なものとなり、個人消費の回復がにぶいことから店頭状況の活性化にはいたりませんでした。

このような経営環境のなか、当社グループは収益体質の改善、財務体質の強化、新規商品の開発と市場開拓、さらには、業務の効率化による経費の削減と製造コストの低減に努めるとともに事業資源の効率的な運用を計ってまいりました結果、売上高は、前中間期に比べて微減となりましたが当初計画を上回りました。経常利益、当期純利益は、前中間期に比べてそれぞれ改善を計ることができ、当初計画を上回りました。

なお、特別損失として資産の健全化の観点から、たな卸資産評価損4百万円を計上しました。また、通期の見通しにつきましては、原材料価格の高騰を商品価格への転化が難しい状況が一部にあり、連結会計年度後半における利益率低下および受注減退が懸念されますことから、当初業績予想の修正は行ないません。

<個別>

個別業績予想につきましては、上記連結とほぼ同様の理由であります。売上高および経常利益は、それぞれ当初計画を上回りましたが、当期純利益は微減となりました。

なお、特別損失は、上記連結と同様の内容と金額を計上いたしました。また、通期の見通しにつきましては、上記連結とほぼ同様の理由により当初業績予想の修正は行ないません。

以上